

ブロック研修特集

今年度もブロック研修会の参加協力、誠にありがとうございました。会場担当児童館の方々には計画・準備・実施等大変お世話になりました。研修の成果を各児童館の皆さまに少しでも還元できればと考え、今回は誌面を特別サイズにさせていただきました。ぜひ、ご一読ください。

第1ブロック
日光市鬼怒川児童館
クラフト製作
まきまきマスコット
講師：鬼怒川親子
ふれあい広場職員
齋藤宮子氏



クラフトテープを用いてマスコット制作に挑戦しました。長さ155cmのテープを途中まで半分に割いて、まきまきしていきます。ゆるまないようにピンセットで先端をつまみ、ねじを回すように巻きました。巻いたら少しずつ、テープを立体的に押し出して形にします。紙なので木工用ボンドで形を固定できます。色画用紙などでデコレーションして出来上がりです。名刺スタンドも作りました。クラフトの色をうまく組み合わせることで素敵な柄になりますね。今季節におすすめのサンタやベルもできますよ。

＜情報交換会＞ 『児童館で人気・おすすめの工作』

工作に最も多く使われていた材料がストローだったので、いくつか紹介します。

- 【ストローひこうき】
ストローの先にクリップを付けて、色画用紙ではねをつけてとばす。
- 【ストローおばけ】
牛乳パックにストローをさし、ストローの先におばけの装飾をしたビニール袋をつける。ストローを吹くと箱からおばけが現れる。
- 【スーパーボールロケット】
竹串にスーパーボールをさす。ストローを付けたロケット型画用紙を竹串に通し、スーパーボールを地面に弾ませるとロケットが飛び立つ。
- 【コマ作り】
紙皿をいろいろな形に切ってお絵描きをして、ストローを軸にしてみます。ほかに【ストロートンボ】やストローを吹いて発泡スチロールの玉を浮かせる遊びなどもありました。ストロー大活躍です！
県児連の研修会で実施したのも取り入れられていました。
・栃木県児童館・児童クラブ職員研修で実施
【恐竜のたまご（へんなたまご）】【おばけちゃん】【皿回し】など
・児童館フェアで実施
【クリップバツタ】【スカイビューン（わりばしてっぽう）】など
おもしろそうなアイデアとしては、【巨大化する遊び】。バルーンロケット、オセロ、はご板など、道具を巨大化して遊んでみてはいかがでしょうか。

第2ブロック
真岡市真岡児童館
自然と触れ合う遊び
講師：
真岡児童館職員



真岡児童館からバスで10分弱のところにある磯山自然教育園では、芝すべり、マスのつかみどり、昔の道具体験、流しそうめん、アスレチックなど、自然いっぱいの環境で野外活動が楽しめます。マスのつかみどり体験では、池に放したマスを手でつかんで取ります。必死にマスを追いかけてつかもうとしますが、すると手から抜けてしまいます。マスを池の端に追い込んで寄ってきたところをつかまえるのがよいそうです。最後に塩をふりかけて焼いたマスをとても美味しくいただきました。ほかに、全長30mある流しそうめん場、駆け出したくなる芝の斜面等、子どもが笑顔になる遊び場でした。

＜情報交換会＞ 『各児童館の人気行事ベスト3』

各参加者がベスト3に多く挙げていたものは**工作系**の行事でした。中でも「グラスアート」「クリスマスリース」「スノードーム」など、普段はできない特別でキラキラしたものが人気のようです。次に多かったものは**運動系**の行事です。「スキー」「トランポリン」「運動会」「親子ピクス」「忍者道場」など、子どもは体を動かす遊びが大好きですね。つづいては**祭り系**です。夏祭り、児童館祭りなどと銘打って、地域の人たちと連携しながらいろいろな遊びが展開されているようです。「**食べ物系**」の行事も人気でした。「流しそうめん」「クッキング教室」「もちつき」など、遊んで、食べてができると親も子どもも嬉しいですね。ほかに、地域の特性を生かした「陶芸教室」「七福神めぐり」、民間経営の児童館では宿泊型のキャンプや器楽教室なども多くの児童の参加があるようです。行事開催にあたっては、行事開催の目的と子ども一人一人の課題を明確にします。そして、子ども同士、子どもと保護者、指導者、地域人材などが互いに協力し合って目的を達成させることができる活動を設定していくとよいそうです。



第3ブロック
足利市にしこども館
歌とパネルシアター
バルーンアート
講師：紙ひこーき
森山文男氏 森山恵美子氏



紙ひこーきのお二人によるパネルシアターで幕を開けました。ブラックライトを利用したパネルシアターでは「おもちゃのチャチャチャ」の世界と一緒に歌いながら体験しました。バルーンアートにも挑戦しました。ふくらんだバルーンを曲げるとき、ねじるときの恐怖を克服さえすれば自由に形を作ることができます。「ふうせん」は子どもに人気があるので、紙ひこーきの活動にも取り入れたのだそうです。「子どもに遊ぶ力、興味を向ける力を伝えるのは大人の役割なので、一緒にいる保護者や指導者が率先して楽しむ気持ちを見せることが大切です。」と教えてくださいました。



＜情報交換会＞ 『事例研究会』

- 事例① 子育て支援・幼児クラブの参加者の確保
- ・魅力あるイベントの企画、毎月継続できるイベントの実施
 - ・幼児だけでなく母親も楽しめるもの
 - ・父親参加の行事で雰囲気をかえてみる
 - ・児童館の大きなイベントと合同で行う
- 事例② 児童館行事の参加者の確保
- ・宣伝や広報 夏休みに暑中見舞いを送る
 - ・インターネット上での製作やふれあいの様子を掲載する
 - ・親子連れが集まるところへのチラシ配付
- 事例③ 市の広報誌やHP掲載、小中学校へのお便り配付
- ・子育て支援教室の親子へのPR
 - ・学童の児童から友達への声かけ
 - ・行事の予約をしてくれた人に「予約ありがとう」のカードの配付
 - ・実施日の工夫…小学校が早く終わる日を事前に調査し、その日に行う午後に行える日にする。
- 事例④ 乳幼児と小学生の交流 子育て支援から延長で児童館行事に参加してもらえよう幼児と小学生の交流が図れる事業の実施
- 事例⑤ 児童の問題行動への支援
- ・各グループ共通して挙げた支援方法は、集団の中で暴れる子や集団の中に入れない子に対して、その子が落ち着ける居場所を作ってあげて、気持ちを聞いてあげることでした。児童館が子どもの安らぎの場となることを期待します。